

運航拠点・対空集約実施計画（案）

令和3年1月

航空局交通管制部運用課

連絡先（お問い合わせ先）
国土交通省航空局交通管制部運用課
電話：03(5253)8751
Mail: hqt-unyou-gaea@mlit.go.jp
担当：大橋、徳井

令和3年10月以降の「運航情報業務実施体制の最適化」についてご案内します。

全国8FSC(フライトサービスセンター)において、運航情報官が提供してきた業務について、運航拠点と対空センターに順次集約・再編いたします。

運航拠点・対空集約名称等

運航援助情報業務の集約【2】

東京運航拠点／TOKYO FAIB (Flight and Airport Information BASE)

関西運航拠点／KANSAI FAIB (Flight and Airport Information BASE)

対空援助業務の集約【3】

新千歳対空センター／NEW CHITOSE AFIS and AEIS Center

大阪対空センター／OSAKA AFIS and AEIS Center

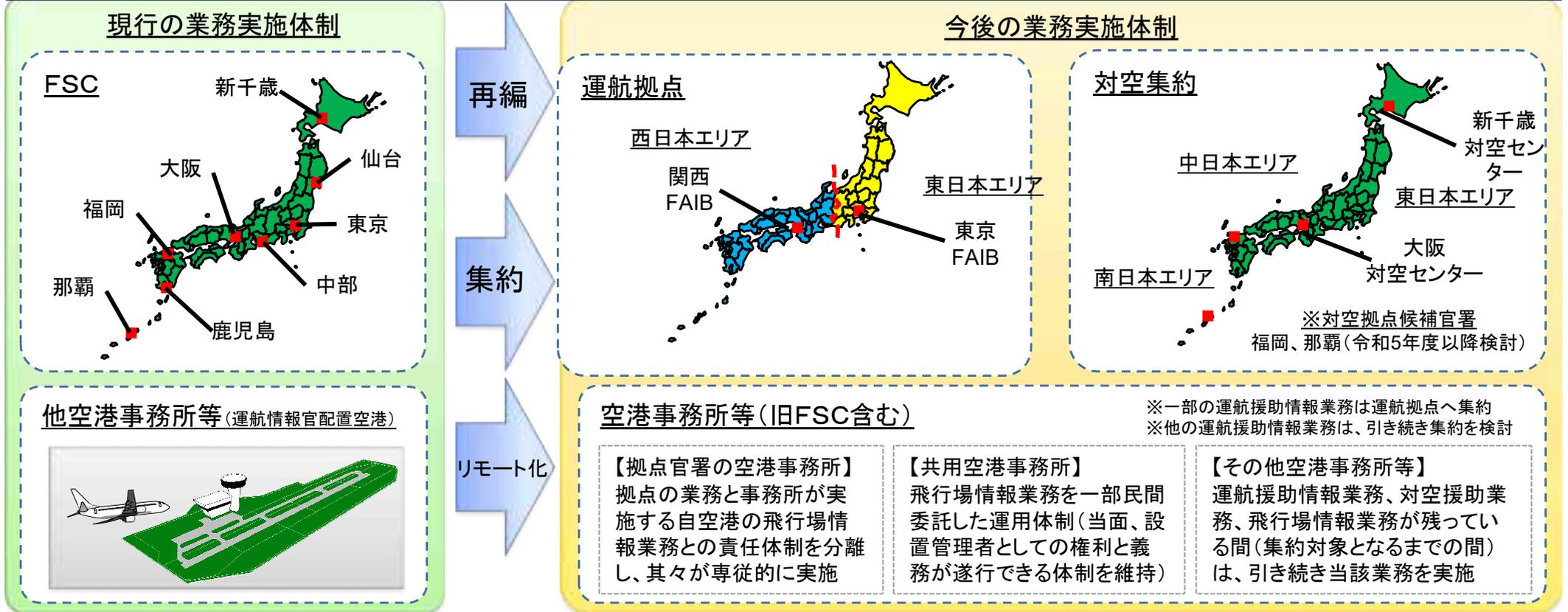
*南日本(九州/沖縄地区)対空センター(令和5年度以降検討予定)

※福岡FSC、鹿児島FSC、那覇FSC等の運航援助情報業務及び対空援助業務については、空港コンセッション、大規模空港整備等の動向及びリモート拠点等の将来計画との整合を図りつつ、令和5年度以降、順次、最適化を進めることとする。

目的

現行の運用業務の実施体制については、空港経営改革の導入による国管理空港の運営権委託や業務体制の減量・効率化といった社会的要請（定員削減）により、FSCをはじめ空港事務所の効率的な運用の継続が困難となり、またSWIMやFF-ICEメッセージ等の新規技術の導入への対応や交通規制部の「新時代の航空保安業務のあり方(DIAMOND)」におけるリモート化促進等の管制職種との連携もこれまで以上に必要とされ、時勢に応じた専門的知識が求められている。

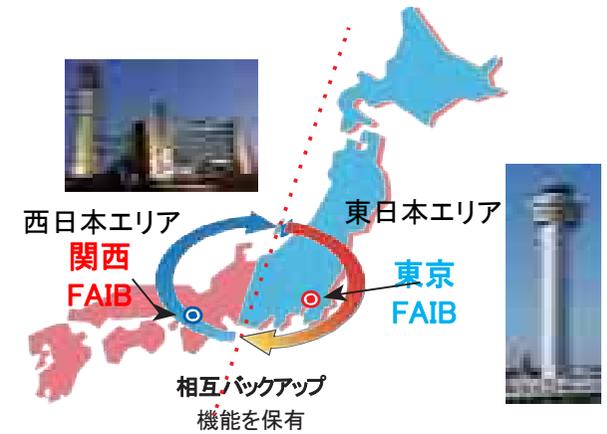
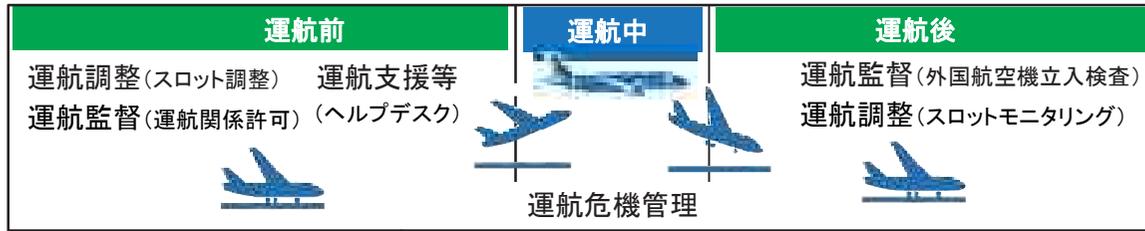
よって、現行の業務実施体制等を見直し、航空機の運航監視等を集中的に管理する運航拠点と航空機への対空援助サービスを提供する対空集約を構築し、それぞれの業務の専門性(プロフェッショナル性)を高め、新技術の導入に柔軟に対応出来る体制の確保や更なる安全性及び品質の向上、並びに業務処理の効率化を図ることとする。



		短期フェーズ						中期フェーズ				
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	...
スケジュール	GAEA 検討	GAEA 検討		拠点化検討		共用空港委託化、支援業務廃止等		運航拠点・運用開始				
				リモート拠点化の調査		予算確保・整備		対空集約・運用開始				
				業務及び組織強靱化等の具現化を継続的に検討						リモートRADIO運用		

FAIB (Flight & Airport Information BASE)

「FAIB(運航拠点)」とは、**東京空港事務所(羽田)**と**関西空港事務所**に設置された航空管制運航情報官の運航援助情報業務の実施拠点をいい、運航関係者や空港管理者等に対し、様々な運航状況下における幅広い専門的なサポートを行います。



運航調整

利便効率性向上⇒円滑な運航(遅延低減)

運航関係者

新千歳 羽田 福岡

発着枠、駐機場等を包括的に調整

FAIB 運航拠点

新千歳管理者等 羽田管理者等 福岡管理者等

窓口の一元化(拠点官署にて包括的に調整)

空港の利用に係る調整をワンストップで実施。

- 1 発着枠
- 2 駐機場調整支援
- 3 空港使用の調整支援

運航支援等

運航の安全をサポート⇒事故等の低減

飛行計画 審査・受理

パイロットブリーフィング (気象情報、航空情報等、運航に必要な情報の提供)

安全・安心を丁寧にサポート

運航関係者 空港管理者等

必要に応じて担当部署へ引継等

関係機関

- 飛行計画の審査・受理
- 最適な飛行経路等の飛行計画の作成支援
- 運航に必要な情報の収集・整理・提供
- 運航関係者、空港管理者等からの各種問い合わせ対応(ヘルプデスク)

運航危機管理

運航の安全・安心、事案からの早期回復

運航監視 イレギュラー対応

運航拠点

空港機能の低下を早期に回復

緊急機の受け入れを強力にサポート

搜索救難調整

- 航空機の運航を出発から到着まで監視
- 迅速な搜索救難調整の実施
- イレギュラーな運航への対応
- 空港の緊急機受入体制サポート

運航監督

運航許可事務の更なる柔軟化

運航関係者

申請 許可

統計・保存

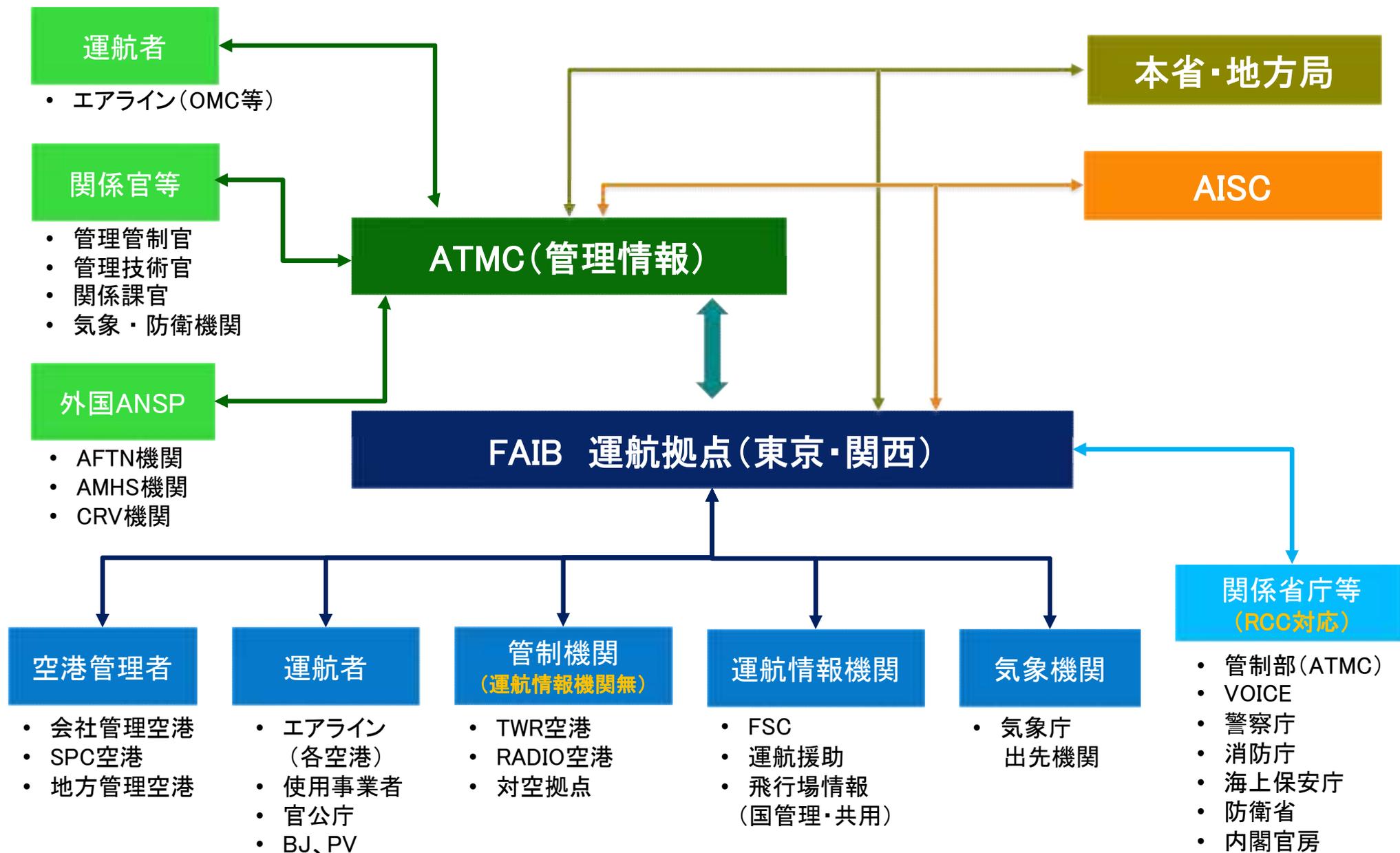
受付 審査 指導 処理 管理

サービス向上

- 24時間申請可能
- 申請書の記載内容一元化
- 災害等の緊急時の申請の弾力化で対応

- 運航関係許可事務の標準化
- 運航関係者への安全情報の発信
- 外国航空機への立入検査

関係機関等との連絡体制 (案)



～航空機の運航に係る調整をワンストップで実施します～

拠点化(R3. 10～) 21Wダイヤ

希望する運航計画(例)



航空会社

<社内調整>
機材、乗員、CA等



その他、ハンドリングの手配、ビルカウンターの空き状況、CIQ等の調整

確認・回答・調整・書類



運航情報官

提出書類の様式

効率UP!!

成田空港(株)
スポットの調整

成田空港

照会・調整

窓口の一元化

各空港のスポット・スポットを
包括的に確認・調整
(ワンストップ)

確認・回答・調整

東京FAIB: 新千歳、成田、東京
関西FAIB: 関西、大阪、中部、福岡

福岡空港(株)
スポットの調整

福岡空港

照会・調整

国際航空課・航空事業課

【拠点化のメリット】

- 複数空港分を一つの窓口で調整可能となり、調整先の減少・調整時間の短縮による効率化。
- 提出書類、調整方法の統一による調整の簡便化。
- スロット・スポットの一体的な調整により、災害発生時等にも極めて迅速な調整が可能
- 計画と運航実績との乖離調査、指導により、円滑な交通流や混雑緩和に寄与

窓口一本化
書類・調整方法の統一

手続き簡素化。
調整時間の短縮。

効率性 ↗

運航関係



- ✓ 飛行計画の提出
- ✓ 運航に関する問い合わせ
- ✓ 空港運用に関する問い合わせ

- ✓ 飛行計画の受付
※拠点以外の運航援助情報業務官署においても取り扱う。
- ✓ ブリーフィング
- ✓ 運航に影響を及ぼす情報の提供

運航者



AISC



空港管理者

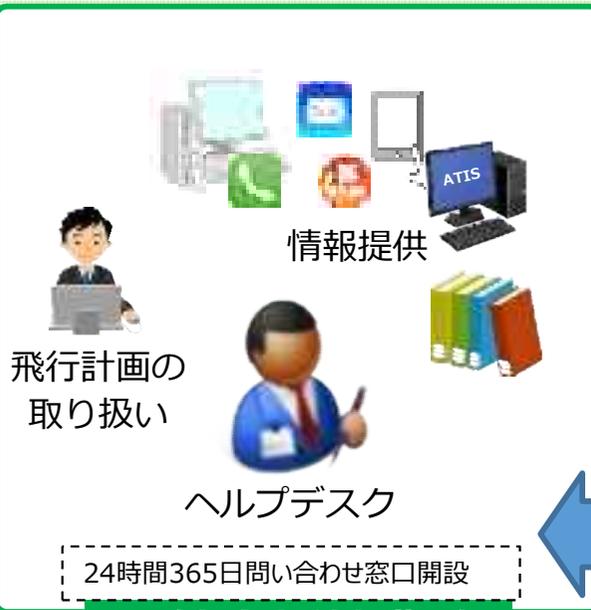


管制機関・ATMC



連絡調整

【FAIB】 運航支援等



運航支援等業務

空港関係



- ✓ 運航状況に関する問い合わせ
- ✓ 滑走路等運用状況の収集
- ✓ 航空情報の提供に関する相談

- ✓ 運航状況に関する情報提供
- ✓ 空港運用状況に関する情報提供

空港技術支援 (将来的な検討)

国際航空輸送網又は国内航空輸送網の拠点空港間の連携強化を促進
運航情報官のノウハウにより空港運用を支援

連携強化

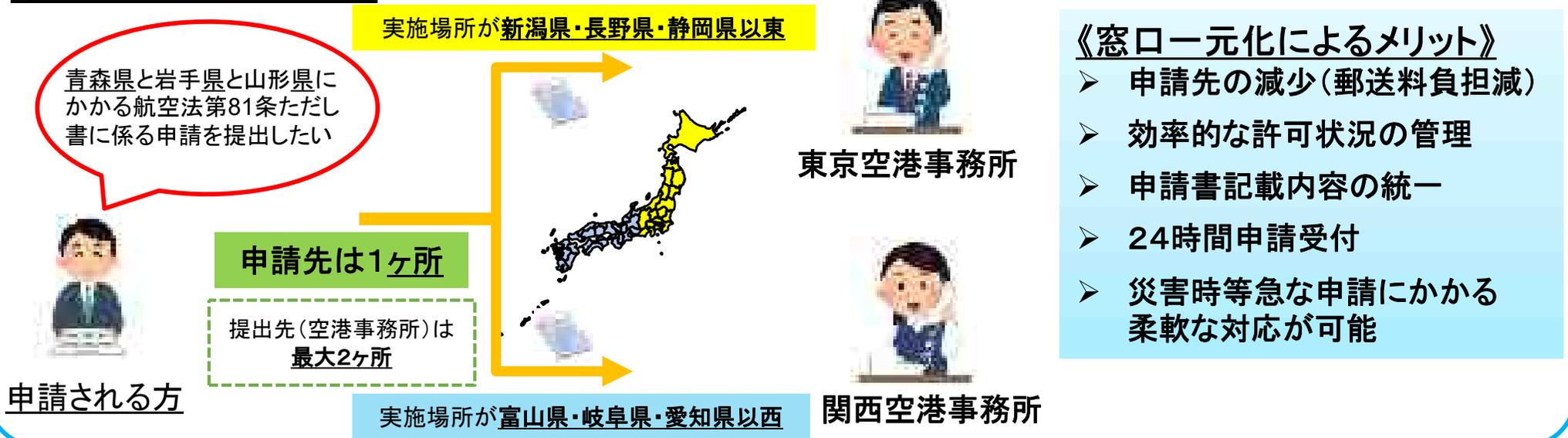


空港プロバイダ連携による
安定的な航空ネットワークの維持

現状(一例)



令和3年10月以降



対空センター(AFIS & AEISセンター)

飛行場対空援助業務 (AFIS)

RAG空港/リモートRADIO空港

飛行場及びその周辺を飛行する航空機に対する
情報提供等



広域対空援助業務 (AEIS)

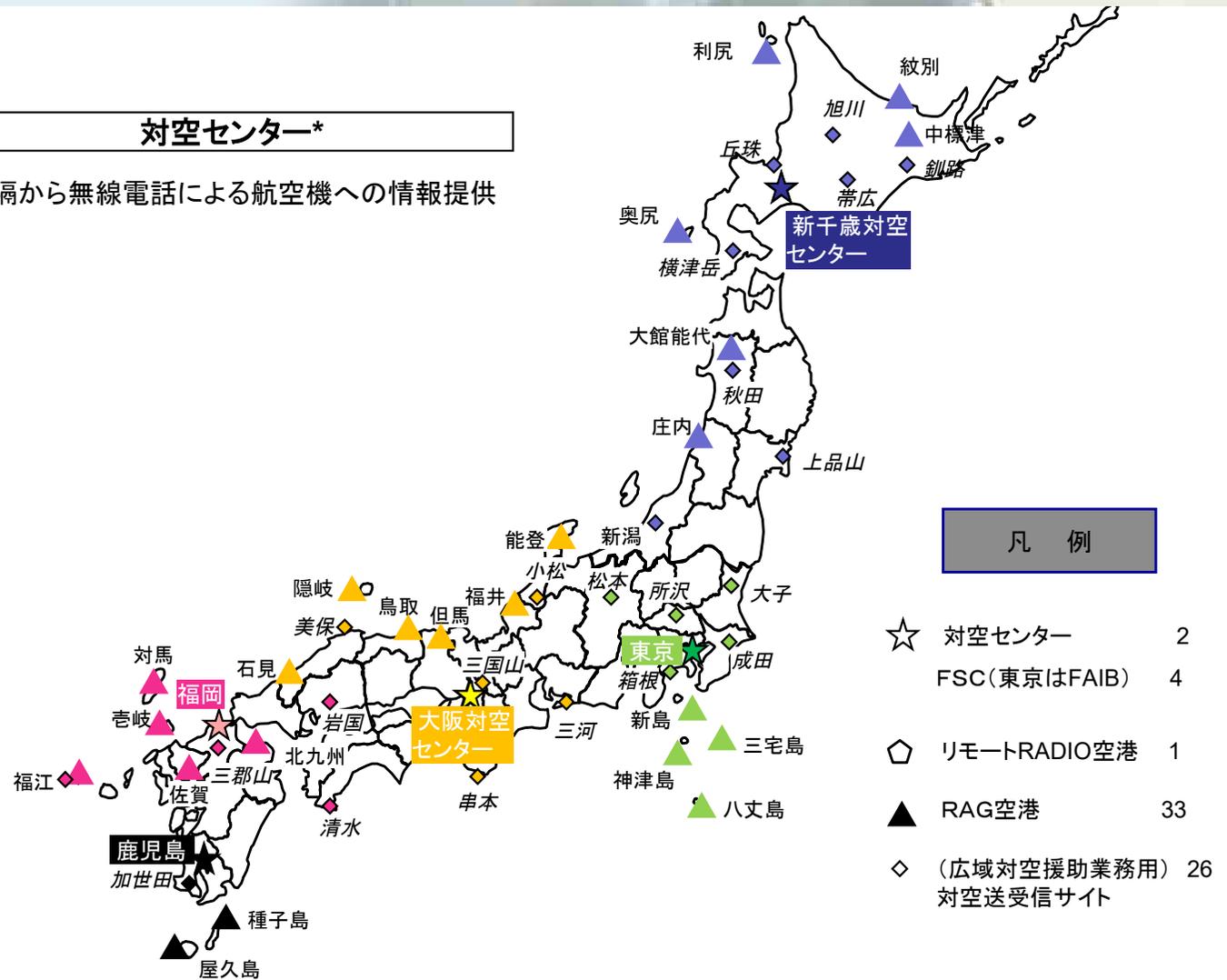
広域対空送受信

飛行中の航空機に対する情報提供等



対空センター*

遠隔から無線電話による航空機への情報提供



凡例

- ☆ 対空センター 2
- FSC(東京はFAIB) 4
- ◇ リモートRADIO空港 1
- ▲ RAG空港 33
- ◇ (広域対空援助業務用) 26
対空送受信サイト

【備考】

- 左図体制は令和3年10月1日予定
- ・東京における業務は令和4年10月に新千歳対空センターに集約予定
- ・福岡、鹿児島、那覇FSCに係る集約は検討中

*「FSC(フライトサービスセンター)」は順次「対空センター」へ移行します。

飛行場対空援助業務(AFIS)

航空管制運航情報官は、飛行場及びその周辺を航行する航空機に対して、管制業務を行う機関と航空機との管制上必要な通報の伝達、航空機の航行に必要な情報提供を実施する。

飛行場対空援助業務(AFIS: Aerodrome Flight Information Services)は、飛行場に配置された航空管制運航情報官、又は対空センター及び飛行援助センターの航空管制運航情報官が遠隔にて実施する。

AFISにより提供されるサービス(共通)

- ◆ 飛行場周辺の航空交通情報の提供
- ◆ 飛行場の滑走路の状態に関する情報提供
- ◆ 飛行場の気象情報の提供
- ◆ IFR機への管制承認の伝達

RADIO

飛行場にて情報提供を実施

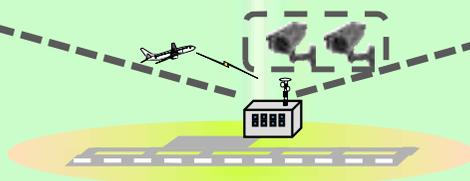


リモートRADIO



カメラにより大型ディスプレイに飛行場全体及び周辺空域を表示

AFIS



RAG



カメラにより飛行場を表示

遠隔にて情報提供を実施(対空センター/飛行援助センター)

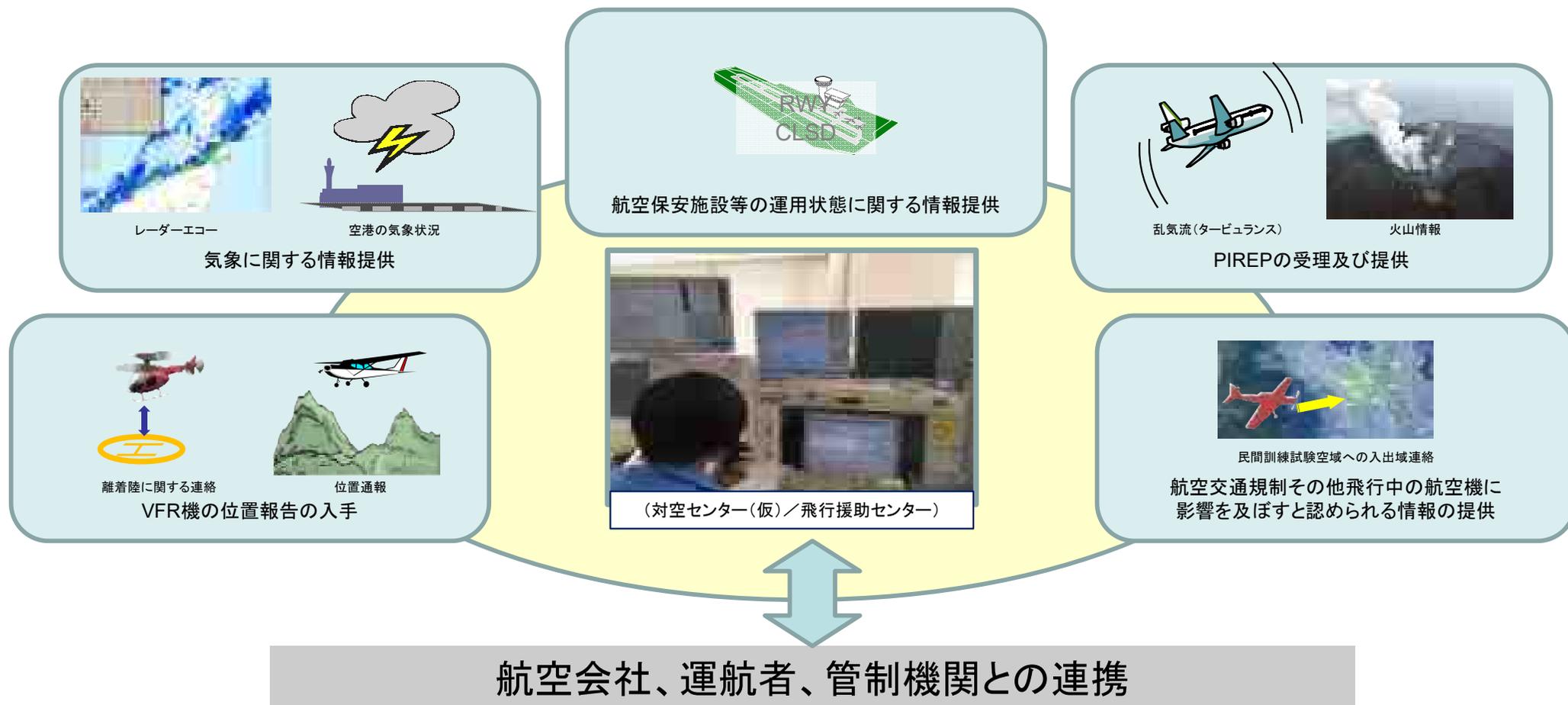
- ◆ 24時間体制 深夜における急患搬送等にも柔軟に対応可能
- ◆ 対空センター間の相互バックアップ 災害等発生時における業務継続性確保

広域対空援助業務(AEIS)

飛行中の航空機の航行を援助するため、航空機の航行に必要な情報の提供、航空機からの報告(PIREP)の受理及び提供、その他航空機の航行の安全に必要な通信に関する広域対空援助業務(AEIS:Aeronautical En-route Information Services)を対空センター(仮)又は飛行援助センターに配置された航空管制運航情報官が実施する。

AEISにより提供されるサービス

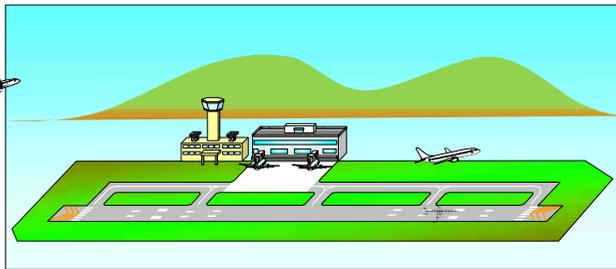
- ◆ 気象に関する情報の提供
- ◆ 航空機からの報告(PIREP)の受理及び提供
- ◆ VFR機の位置報告の入手及び関係機関への提供
- ◆ 航空交通規制その他飛行中の航空機に影響を及ぼすと認められる情報の提供
- ◆ 航空保安施設等の運用状態に関する情報の提供



リモートRADIO(レディオ)

- ◆ 運航者等のニーズに応じたより柔軟な情報提供サービスの実現のため、RADIO空港の更なる遠隔化を目指し、より交通量の多いRADIO空港について、「リモートRADIO」を導入します。
- ◆ リモートRADIOでは、遠隔地からこれまでの空港と同等の環境下において、航空管制運航情報官が対空援助業務を提供します。

飛行場対空援助業務

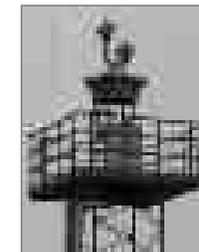
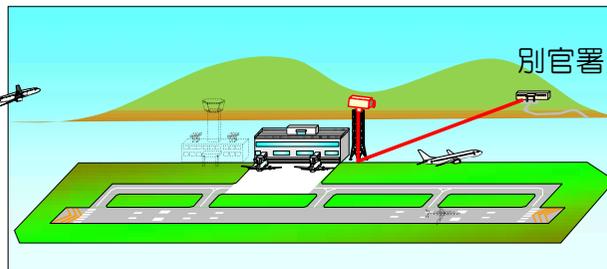


管制塔



空港において業務提供

リモートRADIO

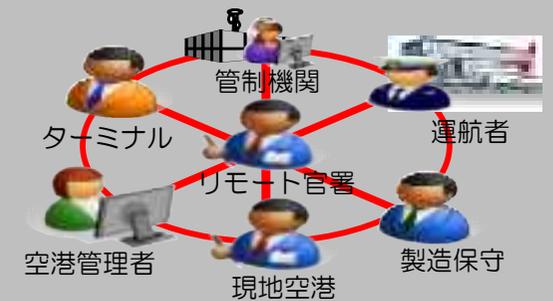


リモートカメラ



遠隔（リモート官署）から業務提供

令和3年10月
奄美リモートRADIO運用開始



評価委員会による評価確認・移行判断

移行調整準備 → 移行過渡期 → 中期

年	R2(2020)						R3(2021)						R4(2022)													
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
イベント							★北海道SPC (稚内・釧路・函館)			★広島SPC オリハラ			★東京二先任化(運航・飛行場)													
組織	運航	東京・関西						★運航拠点																		
	集約	稚内・釧路・函館【SPC】 広島【SPC】 仙台【FSC再編】 中部【FSC再編】 新千歳【FSC再編】 大阪【FSC再編】 神戸【運航援助集約】						★東京集約(函館ATIS)			★関西集約(広島ATIS)			★東京集約(仙台ATIS) ★関西集約(中部ATIS) ★東京業務一部集約(運航調整・運航許可等) ★関西業務一部集約(運航調整・運航許可等)						★東京集約(新千歳ATIS) ★関西集約(大阪・神戸ATIS)						
	一部集約	成田・新潟・大島 福岡・鹿児島・那覇(FSC) 八尾・高知・松山・ 北九州・大分・長崎・ 宮崎						☆運航調整集約 (21Wダイヤ)			運航援助情報業務(運航支援等、運航危機管理、外国航空機に係る立入検査)															
	対空	新千歳・大阪						★対空センター(RAG・RADIOバックアップ)※順次																		
	集約	仙台【FSC再編】 中部【FSC再編】 東京【FSC再編】						★新千歳集約(仙台FSC) ★大阪集約(中部FSC)						★新千歳集約(東京FSC)												
	リモート	奄美【リモートRADIO】 松本【RAG】						評価運用						★那覇FSC集約						時期調整中		新千歳集約				
規定	運航援助情報業務【業務区分整理】 対空援助業務【AFIS業務見直し】						★北海道SPC 省令・告示・赤本・通達			★広島SPC 現地要領改正 書類移送等			★適用 運航援助:業務区分整理 対空援助:AFIS業務見直し						★規定改正							
機器	設計						機器移設等						設計						機器移設等		性能向上等					
関係機関	対外説明						個別調整			協定等改正			対外説明						個別調整			協定等改正				
教育訓練	運航援助情報業務 捜索救難(M-FAST) 対空援助業務						移行慣熟						移行慣熟													